

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	商店街にぎわい創出事業		
事業担当	産業振興部 商業観光課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	②〈まちの顔〉 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'01	1 人々が集まり、にぎわいと活気にあふれる街づくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	中心街イベント実行委員会等	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： イベント実行委員会等】		
	目的・目標		事業の概要
活発な商店街活動により、商店街に人が集まり、にぎわっています。		商店街の活性化を促進するため、商店街団体等が行う交流事業や販売促進活動事業を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	補助対象事業数			単位	事業
	説明・算定式	補助対象となる商店街の交流事業や販売促進事業数				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	20	18	18	18	
	実績	16	17	17		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	商店街の交流事業や販売促進事業への参加店舗数(平成25年度まで)			単位	店舗
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	250	280	280		
	実績	466	466	354		
成果指標②	指標名	商店街の交流事業や販売促進事業への来場者数(平成26年度から)			単位	人
	説明・算定式	主催者の発表した来場者数等を集計				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標				120000	
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
<p>新たな事業として専門知識や経験を有するアドバイザーを派遣して、商店街が抱えている課題の改善や販売促進事業の企画立案等の経営支援を行いました。また、中心商店街や地域の商店街で開催される各種イベントや販売促進活動を支援し、中心商店街のにぎわいアップと地域商店街での市民とのふれあいを促進しました。さらに、空き店舗対策事業等を行う平塚市中心市街地活性化調整協議会の活動を支援しました。</p>						
平成25年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	中心商店街の活性化を図るために、イベント等の事業を実施する組織への支援は必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	イベント事業を継続し、中心商店街に賑わいと創出を図ることは有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	中心商店街の賑わいと創出を図るために、イベントの実施は妥当です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	将来的には、中心街の活性化を図る組織が独自に事業を展開できるよう、市が支援していく必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 中心商店街で行われるイベントにより多くの来街者が訪れるとともに販売促進につながるよう、実行委員会で内容の充実を引き続き検討する必要があります。また地域商店街については、新たな販売促進活動の掘り起こしと商店会への加入促進につながる取組みが必要です。一方、中心商店街周辺では、日産車体跡地への大型SC出店等のプロジェクトへの対応が必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		商店街にぎわい創出事業への支援	商店街にぎわい創出事業への補助	商店街にぎわい創出事業への補助	商店街にぎわい創出事業、消費税増税対策事業への補助
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	28,783	4,818	5,345	40,050
事業費 (A)		28,783	4,818	5,345	40,050
執行率 (%)		98.07	78.98	66.45	
内訳	職員 (人)	0.80	1.10	1.15	1.20
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
	人件費 (B)	6,484	8,817	9,141	9,376
フルコスト (A+B)		35,267	13,635	14,486	49,426

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 中心商店街のにぎわいと、地域商店街の活性化を促進するため、各種イベントや販売促進活動事業を行う団体を支援します。また、大型SC出店等のプロジェクトに対応するため、中心市街地の活性化を推進する組織の活動を積極的に支援します。
課長コメント 中心商店街の活性化については、周辺で進行する大型プロジェクトを視野に入れた事業を展開します。